

東北森林管理局

指導普及課だより

第 59 号

発行日 平成22年8月10日

郵便番号 010-8550

電話番号 050-3160-6456

住 所 秋田市中通5丁目9-16

中通小学校と花の植栽（環境美化の集い）実施

サルビア 日々草 ペチュニア で 環境美化

7月8日に東北森林管理局職員と中通小学校4年生による「環境美化の集い」が中通小学校グラウンドで開催されました。この集いは、当局がログフェンスを設置したことをきっかけに、中通小学校に呼びかけて始まったもので、今回で9回目となります。

今年は、4年生児童37名と先生、当局からは職員28名が参加、サルビア、日々草、ペチュニアの3種類の花苗を植えました。

真新しい秋田スギの木の香りがするプランターを75個用意し、一人が2個担当しました。花を植えるのは初めてという児童も多くいましたが、先生や局職員の手伝いを受けながら約20分程で植栽を終了。その後、自分で受け持ったプランターに自分の名前を書いたプレートを立てた児童達は、皆で力を

合わせ、中通小学校グラウンドのフェンス沿いと局のログフェンス沿いに設置しました。

最後に、代表の児童からお礼の挨拶があり、参加者全員で記念写真を撮って環境美化の集いを終了しました。

現在、設置されたプランターの花々は、道行く人々の目を楽しませています。



（古久保前局長と一緒に植栽をする児童）



（植栽を終えお礼を述べる代表児童）



（ログフェンス沿いに飾られた花々）

緑の山歩塾 前半終わる

今年度、当課では森林ふれあい推進事業として緑の山歩塾を計4回企画しており、うち2回を終了いたしました。

第1回目 田代岳と高層湿原の高山植物を訪ねて【6月26日(土)開催】

田代岳(1,178m)は、秋田県大館市の青森県境近くに位置し、九合目付近には「雲上のアラスカ庭園」と呼ばれる湿原が広がり、多くの高山植物が生育しています。また、湿原に咲くミツガシワの花のつき具合などで稲作の豊凶を占う「作占い」が行われる信仰の山でもあります。

田代岳登山の企画は2年目ですが、昨年度と同様今回も大変な人気で、定員の約3倍の申し込みがありました。参加者は、初夏の日射しが降り注ぐよいお天気の中、足取りも軽やかに荒沢登山口から出発しました。木漏れ日に足下を照らされながらブナ林を進み、岩や根の張り出す急な箇所もありましたが、樹木や草花の話をしながらゆっくりと登りました。



(ワタスゲの中を歩く参加者)



(田代岳山頂にあるお社の前で笑顔の参加者)

八合目付近から少しずつ視界が拓け明るくなり九合目の高層湿原に到着するとそこはまさに雲上のアラスカ庭園！緑の湿原には白く穂をつけたワタスゲが揺れ、空を映して青く光る池^{ちとう}塘にはミツガシワが咲き、遠くには岩木山まで見渡すことができました。湿原を散策した参加者からは、その美しさに感嘆の声が上がりました。その後田代岳山頂で昼食をとり、記念写真撮影後全員ケガなく無事下山しました。

第2回目 乳頭山と高層湿原の高山植物を訪ねて【7月17日(土)開催】

乳頭山は秋田県仙北市と岩手県雫石町にまたがり、乳頭温泉郷の黒湯・孫六・蟹場に各登山口があります。山歩塾では孫六温泉口から田代平山荘、田代平湿原を経由し蟹場に戻るコースを歩きました。

参加者は厳しい日射しと暑さの中で、傾斜のきつい上り坂を息を切らせながら登り、沢山の汗を流しながら約二時間半弱で田代平山荘に到着。標高約1200mの田代平湿原にはニッコウキスゲやヨツバシオガマ、トキソウ、キンコウカ等が咲き誇り、美しい景色に歓



(ブナ林の中を黙々と進む参加者)

声があがりました。今回は、乳頭山山頂までは時間の都合上行けませんでしたが、足の疲れに耐えながら全員無事に下山し、「きれいな花がたくさん見られてよかった」「きつかったけど、充実感があった」などの声が聞かれました。

今年度の緑の山歩塾は、あと2回計画しています。

イベントを楽しみに来てくださる皆さんのために、安全で充実した内容となるよう、また国有林野を理解していただけるよう努めて参りたいと考えています。



(乳頭山をバックに田代平湿原の木道を進む参加者)



(湿原に咲き誇るトキソウ)



(初夏を代表する花
ニッコウキスゲ)

も り

森林の市に樹木医コーナー新設

アゴラ広場に「どんぐりくん」初登場！！

「森林の市」は、一般市民の方に森林とのふれあいの場を提供し、森林の大切さや林業を理解して頂くことを目的とし5月8日(土)に開催しました。

JR秋田駅前のアゴラ広場に開催場所を移動してから今年で3回目を迎え、心配されたお天気も我々に味方し、晴天の中、開会式で古久保前局長は、「森林の恵みを身近に感じ、存分に満喫していただき、緑や森林の大切さに思いをはせて頂きたい。」と挨拶、引き続いて無料配付用に準備した250本の「ヤマボウシ」の苗木は、わずか10分ほどでなくなりました。

会場では、森林管理(支)署や森林組合、木材関係団体などが出店。人気の高い山菜販売については、今年は遅くまで寒さが続いたこともあり、山には残雪があり心配されましたが、どうにか間に合うことが出来、主催者としてはホッとした一幕もありました。



(苗木をプレゼントする
古久保前局長)



(苗木プレゼントの
ヤマボウシの花)



(上：新設の
樹木医コ
ーナー)

(右：子ども
たちに人気
のどんぐり
くん)



今回新たに新設した樹木医コーナーには、樹木医の資格を持つ局職員と日本樹木医学会秋田支部の職員が庭木の剪定方法や害虫の駆除等のアドバイスをしたり、マツノマダラカミキリやカシノナガキクイムシの昆虫を顕微鏡で見ることが出来るとあって来場者の関心を誘っていました。

また、国土緑化推進機構の緑の募金には沢山のご協力をいただきました。若手職員が緑の募金のキャラクターである「どんぐりくん」に扮し登場すると、沢山の子供達に囲まれ大変な人気を博しました。

多くの市民の皆さんに会場して頂き、開かれた国有林をPR出来た有意義な一日となりました。

指導普及課人事異動 8月1日付け

転出・転入された皆さんからひと言

見市 貴司 (前 保護林係長)



この度異動により、計画課経営計画第一係長へ配置換となりました。2年4ヶ月の間、大変楽しく過ごさせていただき、ありがとうございました。指導普及課の一番の長所は、イベントのみならず普段においても、課内で一致団結して仕事の当たることのできるという結束力の強さだと思います。計画課にいても課の結束を乱さないよう努力していきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

倉本 敬史 (前 緑の普及係)



この度、異動で職員厚生課に配属になりました。指導普及課は1年4ヶ月の間に渡ってお世話になり様々な事を覚えることが出来ました。多くの先輩がたにご指導いただいた事を忘れず、職員厚生課でも心機一転頑張っていこうと思っております。

有馬 俊英 (保護林係長)



8月1日付けで由利署治山課長より指導普及課保護林係へ異動となりました有馬です。1年前に打合せのため指導普及課を訪れた際、漠然と(もしかしたらこの部屋に来るかのなあ...)と感じたのですが、それが現実となり驚いたところでした。

過去には山歩塾で治山事業をPRさせて頂いたり、技術交流発表会においてお世話になっておりましたので、指導普及課に対するそれなりのイメージは抱いておりましたが、着任数日で業務の幅広さを痛感するとともに、多くを得ることができるのではないかと期待しています。これまでの経験を生かしつつ、皆様からのご指導・ご鞭撻を賜りながら努力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。